北越メタル株式会社に対する株主提案に関する補足説明資料

トピー工業株式会社

証券コード　7231

2022年5月31日

© 2022 Topy Industries, Limited All Rights Reserved.

エグゼクティブサマリー

当社と北越メタル社との関係性

- 当社グループは、複合事業体を形成する金属加工の総合グループであり、
  北越メタル社は、同グループのバリューチェーン構築・維持にあたり重要な鉄鋼(電気炉)メーカー
- 当社と北越メタル社には、長年にわたり事業上の協力体制があり、北越メタル社は、2022年3月31日現在、当社と当社子会社が株式を34.41%保有する持分法適用会社にあたる

株主提案の背景と目的

- 北越メタル社の現経営陣は、当社グループとの協力体制を軽視しており、同協力体制の維持・強化により得られるメリットを享受できていないばかりか、北越メタル社の企業価値が毀損する可能性のある事象も発生
- このような状況では、北越メタル社が直面する経営課題に適切に対応することは困難
- 当社は、北越メタル社と、同社のあるべき取締役会構成とその実現に向けた協議を行ったものの、北越メタル社はこれらを拒絶
- 当社は、北越メタル社の株主として、北越メタル社の企業価値の確保・向上を目的に、同社のあるべき取締役会構成を実現すべく、取締役3名・補欠社外監査役1名の選任に関する株主提案を実施
  併せて、北越メタル社の取締役5名・補欠社外監査役1名の選任に関する会社提案の一部について反対の議決権を行使する方針

皆様におかれましては、当社の考えを正しく理解いただき、
当社の考えにご賛同いただきますようお願いいたします

Copyright©2022 Topy Industries, Limited All Rights Reserved.

当社グループ経営の在り方

- グループ基本理念の下、「鉄をつくり、鉄をこなす」高い技術力を礎に複合事業体を形成する金属加工の総合グループ
  - 北越メタル社は当社グループのバリューチェーン構築・維持において重要なグループ会社

当社グループの経営方針

グループ基本理念	トピー工業グループは、事業の存続と発展を通じて、広く社会の公器としての責務を果たし、持続可能な循環社会の実現に貢献する。
グループ行動規範	トピー工業グループの役員および従業員は、グループ基本理念のもと、全ての企業活動において法令およびその精神ならびに本行動規範を遵守し、企業の社会的責任を全うすると共に、闊達で創造性豊かな企業文化を育む。

当社のビジネスモデル（鉄鋼関連）

素材

鉄鋼

加工

自動車・産機

一貫生産体制

バリューチェーン

調達	当社グループ内外の安定したサプライチェーン
開発・設計	各工程の技術力とシナジーを生かした製品開発・設計力
生産	環境に配慮し、効率的・安定的に生産できる能力
供給・販売	多品種・小ロット対応力と加工部門のグローバル供給体制

独自技術による価値創造

- 電気炉製鋼
- 異形形鋼圧延

- 金属加工
- 熱処理

Copyright©2022 Topy Industries, Limited All Rights Reserved.

北越メタル社の概要

- 北越メタル社は当社の持分法適用会社。1961年に出資以後、長年にわたり事業上の協力体制を構築
  - 当社は、北越メタル社から、特殊な形状の異形形鋼等を購入・利用して当社の最終製品の一部を生産・販売

当社及び当社の連結子会社

基本情報

設立	1942年6月23日
本社所在地	新潟県長岡市蔵王三丁目3番1号
上場区分	東京証券取引所　スタンダード市場
事業内容	鉄鋼製品の製造、加工および販売等
主要工場	• 長岡工場(鋼塊、棒鋼、線材) • 三条工場(棒鋼、形鋼) • 雲出工場(メッシュ等)
業績(2022年3月期)	• 売上高　：27,356百万円 • 営業利益　：▲762百万円

出所：北越メタル社 有価証券報告書、決算短信等

上位大株主の状況(2022年3月末基準)

No.	株主名	保有株数 (千株)	保有比率 (%)
1	トピー工業㈱	1,322	33.69
2	伊藤忠メタルズ㈱	348	8.87
3	㈱第四北越銀行	308	7.86
4	伊藤忠丸紅鉄鋼㈱	173	4.43
5	損害保険ジャパン㈱	136	3.49
6	㈱日本カストディ銀行(信託E口)	84	2.16
7	北越メタル社員持株会	83	2.14
8	㈱関茂助商店	76	1.94
9	公益財団法人山口育英奨学会	55	1.42
10	トピー実業㈱	52	1.33

上記の保有比率は、北越メタル社の自己株式を控除した比率です

Copyright©2022 Topy Industries, Limited All Rights Reserved.

株主提案の背景

- 北越メタル社の現状がトリガーとなり、同社の企業価値を毀損する可能性が存在
- 北越メタル社との建設的な対話による現状の改善を志向も断念、同社の取締役会構成を変更する必要があると判断

あるべき姿

当社と北越メタル社とが協力体制を維持・強化し、北越メタル社の企業価値を維持・向上できる状態

北越メタル社のメリット

1. 設備老朽化対策における知見・ノウハウの共有
2. 技術開発における人材・経営資源の共有
3. 安全活動における知見・ノウハウの共有
4. 脱炭素化対応・資源循環における経営資源・知見・ノウハウの共有

➔ 北越メタル社は、協力体制軽視により上記メリットを享受・活用できていない

現状

当社グループとの協力体制を軽視し、自己保身を図っていると強く疑われる現経営陣により、北越メタル社の企業価値を毀損する可能性が存在

1. 経営体制に関する対話・協力拒絶

実例

2. 電気炉トランス設備のトラブル発生時において、対応ノウハウ等を有する当社との情報共有・連絡の不実施(懈怠)
3. 従業員死亡事故の発生後において、その再発防止策構築の未実現(懈怠)
4. 他社との合弁会社設立に際して、当社との協力体制の活用により得られるシナジーに関する当社との検討を不実施(本来得られたシナジーを逸失)
5. 現経営陣自らに適用される役位上限年齢の引上げ
6. 当社社長への「北越メタル社有志一同」からの現経営陣による会社の私物化等に関する内部告発文書に対する適切な調査の不実施

Copyright©2022 Topy Industries, Limited All Rights Reserved.

協力体制維持・強化の必要性

- 北越メタル社は当社グループとの協力体制維持・強化により相応のメリットを享受できる
  - 北越メタル社の重要な経営課題の解決に向けた推進力となる

北越メタル社の課題		協力体制のメリット	
設備老朽化対策	製鋼工場における電気炉更新・環境・省エネルギー対応　等	設備新設・改造に関する知見・ノウハウの共有	当社の新工場の円滑な立上げの実績から安定操業上の課題解決促進
	圧延工場における生産ラインナップの拡充　等	異形形鋼生産技術に関する知見・ノウハウの共有	「技術研究会」への参加による異形形鋼生産技術に関する知見・ノウハウの蓄積
技術開発	技術人材の不足	人材の共有	当社のR&D部門含むグループ内ジョブローテーション
	技術力の底上げ	経営資源の共有	北越メタル社の製品開発にグループR&D部門を活用
安全活動	安全対策の推進(安全衛生水準の向上)	安全活動に関する知見・ノウハウの共有	「グループ安全衛生連絡会」参加による安全活動に関する知見・ノウハウ蓄積
脱炭素化へ対応・資源循環	循環型社会の実現	経営資源の共有	当社グループのリサイクル事業会社2社との連携促進
		CN推進活動に関する知見・ノウハウの共有	グループ「CN推進協議会」参加によるCO_2削減施策の共有及びCO_2削減目標の達成

注：CN･･･カーボンニュートラル

Copyright©2022 Topy Industries, Limited All Rights Reserved.

株主提案の目的と内容

- 当社との協力体制の維持・強化が北越メタル社の企業価値の向上にとって重要であるとの考え方を共有できる取締役会の構成を実現し、もって北越メタル社の企業価値を確保・向上させることが目的
  - 現経営陣はこの考えを軽視しているため、大洞氏、竹内氏、天川氏の3名を新たに提案
  - 中期経営計画の円滑な遂行に向けた経営の継続性に配慮し、棚橋氏の重任には賛成、武仲氏の重任には反対
  - 現状(4頁)に鑑みると結果として現経営陣に対する監督が十分に機能しておらず、独立社外取締役の「中野氏」「米田氏」の重任には反対。小倉氏には、大株主・重要な取引先の立場からの監督を期待し賛成

北越メタル社が提案する取締役会構成(現体制)

社内取締役	会社提案	重任	棚橋氏	当社出身
	会社提案	重任	武仲氏	当社出身
社外取締役	会社提案	重任	小倉氏	伊藤忠商事/伊藤忠メタルズ出身
	会社提案	重任	中野氏(独)	損害保険ジャパン出身
	会社提案	重任	米田氏(独)	三井住友銀行等出身

当社が提案する取締役会構成(新体制)

社内取締役	会社提案	重任	棚橋氏	当社出身
	株主提案	新任	大洞氏	当社出身
	株主提案	新任	竹内氏	当社出身
社外取締役	会社提案	重任	小倉氏	伊藤忠商事/伊藤忠メタルズ出身
	株主提案	新任	天川氏(独)	日本製鉄出身

企業価値確保・向上に資する候補者 北越メタル社の

➔ 可能な限り早期の「独立社外取締役」と「北越メタル社従業員出身である社内取締役」の増員を検討(人選中)

Copyright©2022 Topy Industries, Limited All Rights Reserved.

北越メタル社意見に対する当社見解(要旨)

- 北越メタル社は現経営体制の維持に主眼を置いた反論を展開

北越メタル社の反対意見	当社の見解
現経営陣による 事業構造改革の継続が最適	• “経営方針・方向性”を否定するものではない(基本的には評価) • 現経営陣は、**北越メタル社の企業価値向上に不可欠である当社との協力体制を軽視**しているため、取締役会の構成を変更すべき
プロパー従業員の活躍を阻害するおそれ	• 当社提案は、北越メタル社の従業員の士気向上と更なる活躍に資する • **北越メタル社生え抜きの取締役を選任すべき**とも考えており、具体的な提案を行うも、同社はこれを拒否 • 当社出身の取締役含め自己の保身を行っていると強く疑われる行為が確認できる中、**現経営体制を維持することが、北越メタル社の従業員の士気低下を招く**(当社は「北越メタル社有志」からの会社の私物化等に関する**内部告発文書も受領**)
当社の利益を図るためであり、 北越メタル社の独立性を害するおそれ	• 当社提案は、**北越メタル社の企業価値ひいては株主共同利益の** • **向上を図るもの** • 現状に鑑みると**独立社外取締役による現経営陣に対する監督は十分機能したとはいえない** • 定時株主総会後、早期に、**独立社外取締役の増員を検討**
当社グループとの協力体制を 尊重している	• 現経営陣の行動に鑑み、当社との協力体制を軽視していることは明らか。このままでは**北越メタル社の企業価値が毀損される可能性がある**ため、**筆頭株主として看過できない**

Copyright©2022 Topy Industries, Limited All Rights Reserved.

一般的なご質問への回答(1/2)

		ご質問	回答
コーポレートガバナンス	取締役会	北越メタル社の現経営体制比で独立社外取締役の人数・比率が劣後する提案なのではないか	北越メタル社の株主構成上、取締役会の独立性を名実ともに確保することが重要と考えている。可能な限り早期の独立社外取締役の増員を検討している。現在もその人選を検討している
		トピー工業出身である業務執行取締役2名のうち、「棚橋氏」に賛成し、「武仲氏」に反対する理由を教えてほしい	北越メタル社の企業価値の確保・向上に資するか否かで判断した中期経営計画の遂行のための経営の継続性を重視した
		取締役候補者「大洞氏」はトピー工業と北越メタル社の業務執行取締役を兼務するのか。その場合、大洞氏は北越メタル社の経営に専念できないのではないか	大洞氏は当社の取締役には就任せず、北越メタル社の取締役として職務に専念する予定である
	指名・報酬委員会	指名・報酬委員のうち、「小倉氏」へ賛成し、「中野氏」と「米田氏」に反対する理由を教えてほしい	北越メタル社の企業価値の確保・向上に資するか否かで判断した。現状に鑑みると独立社外取締役による現経営陣に対する監督は十分機能しているとはいえないため、独立社外取締役の2名には反対する。独立役員ではない社外取締役である「小倉氏」には、大株主・重要な取引先の立場からの監督を期待できると判断した
		トピー工業が考える今後の指名・報酬委員会の人選と構成及びその理由を教えてほしい	指名・報酬委員会は、北越メタル社の経営の独立性を尊重し、社外取締役の2名に加え、経験・識見の観点から大洞氏が委員となることを想定している。なお、委員長は独立社外取締役を想定している。独立社外取締役の増員後は、委員に加わることを想定している

Copyright©2022 Topy Industries, Limited All Rights Reserved.

一般的なご質問への回答(2/2)

		ご質問	回答
経営戦略	中期経営計画	北越メタル社の現経営陣が策定した長期ビジョンや中期経営計画について、どのように考えているのか	“経営方針・方向性”を否定するものではない(基本的には評価)
経営戦略	中期経営計画	現経営陣の経営方針を評価しているのであれば、なぜ取締役会構成の見直しの株主提案を実施するのか	現経営体制は、当社との協力体制の維持・強化が北越メタル社の企業価値向上のために重要であるという考えを共有していなかったため。 この点、これまで水面下で協議を行ってきたが、それは叶わず株主提案を行うに至った
経営戦略	当社との協力体制	当社グループとの協力体制強化が北越メタル社の企業価値向上に寄与する理由を教えてほしい	当社グループで有する製鋼・圧延操業のノウハウやリソースを北越メタル社と共有することで、同社の技術力・現場力の強化に寄与し、また、北越メタル社の重要な経営課題の解決に向けた推進力となり、中長期的な企業価値の向上につながるものと考えている
経営戦略	当社との協力体制	当社グループとの協力体制軽視が北越メタル社の企業価値を毀損するおそれがあるとのことがだが、具体的にはどのようなおそれがあるのか、教えていただきたい	電気炉トランス設備のトラブルや従業員の死亡事故への対応が挙げられる。当社にはこれらの事象に関する早期・詳細な報告は受けておらず、発覚後に状況改善に向けた指摘・提案を行うも北越メタル社はこれらを拒否。当社以外の取引先においても重要な影響を及ぼしかねなかった(本資料の「4頁」もご参照下さい。)
その他		補欠監査役候補を提案した理由を教えてほしい	補欠監査役候補の中村氏は、製鋼技術を専門とし、業界での知名度も高い。監査役に就任した場合には、その技術的知見を活かし、取締役会の意思決定の適法性・妥当性を確保するための助言や、監査役会における発言等により、監督機能の強化が期待されるため提案した

Copyright©2022 Topy Industries, Limited All Rights Reserved.

TOPY INDUSTRIES, LIMITED

One-piece Cycle

流れるように美しい、技術と品質。

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任を負いません。

Copyright©2022 Topy Industries, Limited All Rights Reserved.